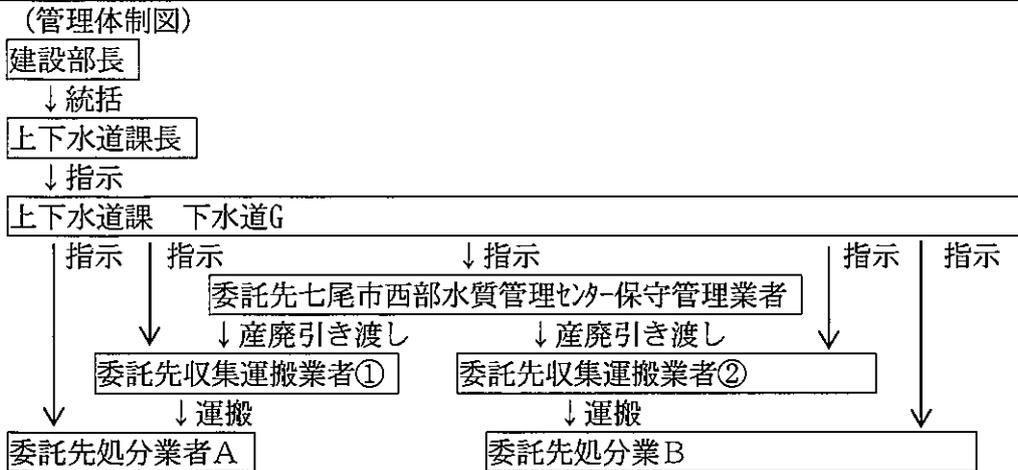


(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月3日	
石川県知事 馳 浩 殿	
提出者 住 所 石川県七尾市袖ヶ江町イ部25番地 氏 名 七尾市 七尾市長 茶 谷 義 隆 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0767-53-1111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	七尾市西部水質管理センター
事業場の所在地	七尾市石崎町マ部2番地
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	36 水道業(公共下水道処理場)
②事業の規模	処理能力: 6,900 m ³ /日 (R5年度実績処理水量: 3,893 m ³ /日)
③従業員数	5名(委託職員)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	公共下水道流入汚水 — (OD法による水処理) → 終沈余剰汚泥 — (重力濃縮) → 濃縮汚泥 — (機械脱水) → 脱水汚泥 — (委託先収集運搬業者にて場外搬出) — → 7割を委託先処分業者Aにて乾燥・造粒の中間処理(→堆肥) 3割を委託先処分業者Bにて堆肥化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	下水道脱水汚泥
	排出量	994 t
	(これまでに実施した取組) ・水処理及び汚泥処理の適正管理による脱水汚泥発生量の抑制 (年間平均脱水汚泥含水率 84.3%)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	下水道脱水汚泥
	排出量	1,015 t
	(今後実施する予定の取組) ・水処理及び汚泥処理の適正管理による脱水汚泥発生量の抑制 (年間平均脱水汚泥含水率目標値 84.0% (事業計画値))	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水道脱水汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水道脱水汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水道脱水汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	
(これまでに実施した取組) なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水道脱水汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	
(今後実施する予定の取組) なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水道脱水汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水道脱水汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	下水道脱水汚泥	
	全処理委託量	994 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	704 t	
	再生利用業者への処理委託量	994 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 優良認定処理業者または再生利用業者へ処理を委託		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	下水道脱水汚泥	
	全処理委託量	1,015 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	676 t	
	再生利用業者への 処理委託量	1,015 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者または再生利用業者へ処理を委託		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。